

# 令和6年6月議会報告

いつまでも

健康で暮らせる街

鴻巣

鴻巣市議会議員

## 藤村たかし



会派：新未来こうのす

所属：議会運営委員、市民環境常任委員

鴻巣市議会 6月定例会が6月4日から21日間の日程で、令和6年度一般会計補正予算（第2号）1,164,632千円が賛成多数で可決しました。

### 令和6年6月定例会 会期日程

- 5 / 31 議会運営委員会
- 6 / 4 代表者会議、全員協議会
- 6 / 7 行政委員に対する質問、議案に対する質疑、討論、採決  
議案、請願に対する質疑  
委員会付託
- 6 / 11 文教常任委員会  
まちづくり常任委員会
- 6 / 12 政策総務常任委員会  
市民環境常任委員会
- 6 / 14・17・19・20 一般質問
- 6 / 20 議会運営委員会
- 6 / 24 委員長報告、質疑、討論、採決

### 専決処分の報告

- 令和5年12月21日、市内八幡田の路上において、相手方が自動車で一般下水道の集水ますの上を通行した際、道路と集水ますに段差が生じていたため、フロントバンパーの右側が路面に接触し、これを破損したものの  
・市内在住の個人・賠償額 31,803円

### 行政報告

- 犯罪の発生状況（令和6年1月～4月末現在）
  - 自動車盗4件・オートバイ盗5件・自転車盗47件
  - 部品ねらい6件・車上ねらい7件・自動販売機ねらい4件
- 交通事故の発生（令和6年1月～4月末現在）
  - 人身事故87件で、死者数0人負傷者数103人

### 一般会計補正予算

**バスロケーション乗降カウントシステム補助金（フラワー号）** 予算額：7,647千円

バスロケーション乗降カウントシステムは、停留所ごとの乗降人数や混雑状況を把握できることにより、ダイヤの最適化にも役立ち、また、バスの現在位置を把握でき、バスの到着時間を予想できるシステムです。

**低所得者支援及び定額減税補足給付金支給事業** 予算額：896,488千円

納税者及び扶養親族1人につき3万円、個人住民税所得割から1万円減税されます。定額減税しきれないと見込まれる方には、定額減税補足給付金として、定額減税しきれないと見込まれる額が1万円単位で支給されます。

- ・ **スポーツ教室開催事業**（体育用備品購入費）2,469千円 障害者スポーツ実施環境構築支援事業委託金
- ・ **適用指導教室活用事業**（施設用備品購入費）1,064千円
- ・ **その他**

討議資料

# 一般質問

## 質問項目1 環境経済行政

### (1) 循環型社会・脱炭素社会の形成について

- ア ゴミの排出量の抑制について
- イ ゴミの分別・資源化について
- ウ ゴミの適正処理について
- エ 脱炭素行動の実践について

### (2) 生活環境の整備について

- ア 事業者公害の防止について
- イ 生活公害の防止について



(1) ア：今後どのような手段にてゴミを減らそうと考えているのか

イ：ゴミの資源化率と直近3ヶ年の販売収入について

ウ：ゴミの適正処理に一人当たりのゴミの処理費用は

ア～ウにつきましては、関連があるので一括での答弁となりました。

本市では、市民、事業者、行政が協働し、4Rプラスリニューアブルに取り組むことで、ゴミの排出量を抑制するとともに、資源化を促進し、循環型社会の形成を目指しております。本市のゴミの排出量は令和4年度では34,366トンで前年度より470トン減少し、ひとり一日あたりに換算すると、799グラムとなっています。また、令和2年度から4年度のゴミの分別による資源化率は、16.8から18.1%の間となっており、資源化に伴う資源回収販売収入額は、約3,000万円から約5,000万円の間に推移しています。そして、市民一人当たりのゴミ処理費用は4年度で9,942円となっています。ごみの適正処理については、生ゴミの水切りや、乾燥させることにより、ゴミ収集車の燃料消費量の軽減や施設処理の燃焼効率が向上するほか、CO2排出量の削減に繋がります。

エ：脱炭素行動を実践できるよう、エコライフの普及促進の啓発方法や補助制度について

答弁内容：環境保全に理解を深めていただくため、1階ロビーなどでパネル展示を実施しています。

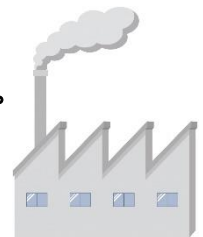
また、温室ガスを削減するため、省エネ家電製品買い換え促進事業補助金等を市民の皆様に活用いただいています。

(2) ア：事業者起因する公害苦情の具体的内容について

答弁内容：令和4年度に8件となり、建物の解体工事などにより発生する騒音等です。

イ：生活公害（個人）に起因する苦情件数について

答弁内容：令和4年度に126件あり、日常生活から発生する生活騒音等です。



## 質問項目2 市民生活行政

### (1) コミュニティ活動の推進について

- ア 自治会に対する支援について
- イ 自治会への加入促進について
- ウ 多文化共生社会について

ア：地域の活動を支援する仕組みについて

答弁内容：集会施設の新設や修繕費の補助、コミュニティセンター管理運営事業により、自治会活動を行うための場を提供しています。

イ：自治会への加入促進と活動支援について

答弁内容：地域活動のデジタル化による運営の効率化、活性化を図り、若い世代の担い手を確保します。

ウ：外国人との多文化共生社会を目指すには

答弁内容：外国人が安心して快適に過ごせる多文化共生の環境を整備します。

藤村たかし後援会

